

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	9,278	0	8,678	0	8,200	0
備蓄米	165	0	175	0	185	0
飼料用米	1,143	0	1,300	0	1,500	0
米粉用米	15	0	16	0	17	0
新市場開拓用米	574	0	600	0	630	0
WCS用稲	479	0	530	0	560	0
加工用米	110	0	150	0	170	0
麦	233	121	233	121	250	130
大豆	1,200	23	1,450	23	1,600	30
飼料作物	1,169	103	1,213	109	1,250	120
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	2	1	3	1	4	2
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	10	0	15	0
高収益作物	525	2	550	3	580	4
・野菜	487	0	512	3	540	4
きゅうり	23	0	24	0	26	0
キャベツ	53	0	56	0	60	0
たまねぎ	7	0	8	0	10	0
ばれいしょ	24	0	32	0	40	0
にんじん	3	0	4	0	5	0
ねぎ	27	0	31	0	35	0
えだまめ	3	2	6	3	10	4
ほうれんそう	16	0	18	0	21	0
いちご	5	0	6	0	7	0
トマト	8	0	9	0	10	0
なす	5	0	6	0	7	0
未成熟そらまめ	4	0	5	0	6	0
にら	8	0	9	0	10	0
にんにく	8	0	9	0	10	0
かぼちゃ	22	0	25	0	28	0
アスパラガス	0	0	1	0	1	0
ゆきな	2	0	3	0	4	0
その他野菜	269	0	260	0	250	0
・花き・花木	30	0	30	0	32	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	8	0	8	0	8	0
小豆	6	0	6	0	6	0
たばこ	2	0	2	0	2	0
その他	0	0	0	0	0	0
・その他	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	50	0	70	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度(実績)	目標値
				(令和3年度)	(令和5年度)
1	野菜類、花き類、果樹類、雑穀類、その他(基幹作)	地域振興作物助成	地域振興作物作付面積	(令和3年度) 53ha	(令和5年度) 60ha
2	きゅうり、キャベツ、たまねぎ、ばれいしょ、にんにく、ねぎ、えだまめ、ほうれんそう(基幹作)	最重点振興作物作付助成	最重点振興作物作付面積	(令和3年度) (基幹作物) 117ha ・きゅうり: 15ha ・キャベツ: 52ha ・たまねぎ: 5ha ・ばれいしょ: 19ha ・にんにく: 3ha ・ねぎ: 23ha	(令和5年度) (基幹作物) 150ha ・きゅうり: 15ha ・キャベツ: 52ha ・たまねぎ: 5ha ・ばれいしょ: 19ha ・にんにく: 3ha ・ねぎ: 23ha
3	いちご、トマト、なす、未成熟そらまめ、にら、にんにく、かぼちゃ、アスパラガス、ゆきな	重点振興作物作付助成	重点振興作物作付面積	(令和3年度) (基幹作物) 64ha ・いちご: 3ha ・トマト: 8ha ・なす: 4ha ・そらまめ: 4ha ・にら: 7ha ・にんにく: 8ha ・かぼちゃ: 14ha ・アスパラガス: 0ha ・ほうれんそう: 14ha ・ゆきな: 2ha	(令和5年度) (基幹作物) 50ha ・いちご: 3ha ・トマト: 8ha ・なす: 4ha ・そらまめ: 4ha ・にら: 7ha ・にんにく: 8ha ・かぼちゃ: 14ha ・アスパラガス: 0ha ・ほうれんそう: 14ha ・ゆきな: 2ha
4	最重点振興作物及び重点振興作物、地域振興作物	作業集積加算(園芸作物等)(基幹作)(二毛作)	園芸作物集積面積 園芸作物の集積率	(令和3年度) 178ha 34%	(令和5年度) 220ha 43%
5	麦、大豆、飼料作物、そば	作業集積加算(戦略作物等)(基幹作)(二毛作)	戦略作物集積面積 戦略作物集積率	(令和3年度) 2,089ha ・麦: 233ha ・大豆: 1,147ha ・飼料作物: 831ha ・そば: 2ha 55%	(令和5年度) 2,300ha ・麦: 250ha ・大豆: 1,147ha ・飼料作物: 831ha ・そば: 2ha 63%
6	飼料用米	飼料用米集積化助成	飼料用米作付面積 飼料用米集積面積 10a当たりの労働時間	(令和3年度) 1,143ha 925ha 19.17時間	(令和5年度) 1,500ha 1,000ha 18.40時間
7	新市場開拓米	新市場開拓用米低コスト加速化助成	新市場開拓用米作付面積 低コスト取組面積(令和5年度目標は、水田リノベーション事業分を除く) 10a当たりの労働時間	(令和3年度) 574ha 574ha 19.17時間	(令和5年度) 630ha 230ha 18.40時間
8	新市場開拓米	新市場開拓用米多収系品種導入助成	新市場開拓用米作付面積 多収系品種作付面積 多収系品種単収	(令和3年度) 574ha 159ha 591kg/10a	(令和5年度) 630ha 190ha 610kg/10a
9	麦、大豆、飼料作物、そば	二毛作助成	二毛作の取組面積 戦略作物(基幹作)作付面積の内二毛作に取り組んでいる割合	(令和3年度) 251ha ・麦: 121ha ・大豆: 23ha ・飼料作物: 103ha ・そば: 1ha 10%	(令和5年度) 280ha ・麦: 130ha ・大豆: 30ha ・飼料作物: 118ha ・そば: 2ha 12%
10	飼料作物	耕畜連携助成(資源循環・基幹作)(資源循環・二毛作)(水田放牧・基幹作)	耕畜連携取組面積 飼料作物作付面積の内資源循環に取り組んでいる割合 水田放牧取組面積	(令和3年度) 262ha 21% 9ha	(令和5年度) 300ha 25% 11ha
11	飼料作物	水田草地更新助成	草地更新取組面積 収穫数量	(令和3年度) 191ha 0.9t/10a	(令和5年度) 600ha 1.1t/10a
12	加工用米	加工用米低コスト加速化助成	加工用米の作付面積 低コスト生産面積	(令和3年度) 110ha 0ha	(令和5年度) 170ha 120ha
13	最重点振興作物及び重点振興作物、地域振興作物	園芸作物作付拡大加算	園芸作物作付面積 主食用米作付面積	(令和3年度) 234ha 9,278ha	(令和5年度) 260ha 8,000ha
14	飼料用米・米粉用米	【国枠】飼料用米・米粉用米の複数年契約助成	【飼料用米】 複数年契約取組面積・数量 作付取組面積・数量	(令和3年度) ・複数年: 1,068ha 5,883t ・作付面積: 1,143ha 6,295t	(令和5年度) ・複数年: 548ha 2,853t ・作付面積: 1,500ha 7,500t
			【米粉用米】 複数年契約取組面積・数量 作付取組面積・数量	(令和3年度) ・複数年: 15ha 89t ・作付面積: 15ha 89t	(令和5年度) ・複数年: 0ha 0t ・作付面積: 17ha 108t
15	そば	【国枠】そば助成	取組面積	(令和3年度) 3ha	(令和5年度) 7.6ha
16	地力増進作物	【国枠】地力増進作物助成	取組面積	(令和3年度) 0ha	(令和5年度) 15ha
17	新市場開拓米	【国枠】新市場開拓用米助成	取組面積	(令和3年度) 574ha	(令和5年度) 630ha
18	新市場開拓米	【国枠】新市場開拓米複数年契約助成	複数年契約取組面積・数量 作付取組面積・数量	(令和3年度) ・複数年: 573ha 3,009t ・作付取組: 574ha 3,012t	(令和5年度) ・複数年: 620ha 3,200t ・作付取組: 630ha 3,300t

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要
 都道府県名:宮城県
 協議会名:登米市農業再生協議会

新様式(公表用)

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成	1	5,000(上限8,000)	「別紙1」の地域振興作物のとおり	対象作物を生産・出荷・販売すること。
2	最重点振興作物作付助成	1	15,000(上限20,000)	きゅうり、キャベツ、たまねぎ、ばれいしょ、にんじん、ねぎ、えだまめ、ほうれんそう	対象作物を生産・出荷・販売すること。
3	重点振興作物作付助成	1	10,000(上限15,000)	いちご、トマト、なす、未成熟そらまめ、にら、にんにく、かぼちゃ、アスパラガス、ゆきな	対象作物を生産・出荷・販売すること。
4	作業集積加算(園芸作物等)(基幹作)	1	13,000(上限25,000)	別紙1のとおり	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②対象作物の作付面積(基幹作及び二毛作)の合計が30a以上であること。
4	作業集積加算(園芸作物等)(基幹作)(二毛作)	2	13,000(上限25,000)	別紙1のとおり	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②対象作物の作付面積(基幹作及び二毛作)の合計が30a以上であること。
5	作業集積加算(戦略作物等)	1	7,000(上限13,000)	麦、大豆、飼料作物、そば	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②対象作物の作付面積(基幹作及び二毛作)の合計が3ha以上(東和・津山地区は2ha以上)であること。 ③大豆については、別紙3に定める技術要件のうち、2つ以上の取組を行うこと。
5	作業集積加算(戦略作物等)(二毛作)	2	7,000(上限13,000)	麦、大豆、飼料作物、そば	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②対象作物の作付面積(基幹作及び二毛作)の合計が3ha以上(東和・津山地区は2ha以上)であること。 ③大豆については、別紙3に定める技術要件のうち、2つ以上の取組を行うこと。
6	飼料用米集積化助成	1	6,500(上限13,000)	飼料用米	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②自作地又は農作業委託地における飼料用米の作付面積の合計が2ha以上であること。 ③新規需要米取組計画の認定を受けること。
7	新市場開拓用米低コスト加速化助成	1	6,000(上限8,000)	新市場開拓米	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②別紙5に定める低コスト技術要件のうち、3つ以上の取組を行うこと。 ③新規需要米取組計画の認定を受けること。
8	新市場開拓用米多収系品種導入助成	1	5,000(上限10,000)	新市場開拓米	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②新規需要米取組計画の認定を受けること。
9	二毛作助成	2	5,000(上限9,000)	麦、大豆、飼料作物、そば	①麦・大豆・そばにおいては、実需者との契約により生産・出荷・販売すること。 ②戦略作物同士又は戦略作物とそばの組み合わせであること。
10	耕畜連携助成(資源循環・基幹作)	3	3,000(上限5,000)	飼料作物	①連携をする者間で利用供給契約を締結すること。 ②水田で生産された飼料作物の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を水田に散布すること。 ③堆肥の散布は、10a当たり2t又は4m ² であること。
10	耕畜連携助成(資源循環・二毛作)	4	3,000(上限5,000)	飼料作物	①連携をする者間で利用供給契約を締結すること。 ②水田で生産された飼料作物の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を水田に散布すること。 ③堆肥の散布は、10a当たり2t又は4m ² であること。
10	耕畜連携助成(水田放牧・基幹作)	3	3,000(上限5,000)	飼料作物	①連携をする者間で利用供給契約を締結すること(自家利用の場合は、利用計画書を提出すること。) ②1ha当たりの放牧頭数が育成牛1頭であること(育成牛の場合は、2頭で1頭)。 ③対象牛は、月齢24カ月以上の成牛(育成牛は月齢8カ月以上)であること。
11	水田草地更新助成	1	2,000(上限3,000)	飼料作物	①耕及び播種を行い、収穫すること。 ②実需者と利用協定を締結し、供給すること。ただし、自家利用の場合は自家利用計画書を作成の上、収穫・給餌すること。
12	加工用米低コスト加速化助成	1	10,000(上限15,000)	加工用米	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②別紙5に定める低コスト技術要件のうち、3つ以上の取組を行うこと。 ③新規需要米取組計画の認定を受けること。
13	園芸作物作付拡大加算	1	8,000(上限10,000)	別紙1のとおり	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②作付けにおいて、主食用米の作付を10a以上減少させ、対象作物を10a以上増加させること。ただし、主食用米を作付けていない場合は、賃貸借又は作業委託により経営面積を拡大した場合は、対象とする。
14	【国枠】飼料用米・米粉用米の複数年契約助成	1	6,000	飼料用米・米粉用米	①実需者との契約に基づき、生産・出荷・販売を行うこと。 ②令和2年度又は令和3年度に締結された、3年以上の複数年契約であること。 ③契約書に年度ごとの数量、価格が記載されており、契約不履行による違約事項が明記されていること。
15	【国枠】そば助成	1	20,000	そば	実需者との契約に基づき、生産・出荷・販売を行うこと。
16	【国枠】地力増進作物助成	1	0	地力増進作物	地力増進作物を作付けし、すき込みを行った後、麦・大豆・高収益作物を生産・出荷・販売すること。
17	【国枠】新市場開拓用米助成	1	20,000	新市場開拓米	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②新規需要米取組計画の認定を受けること。
18	【国枠】新市場開拓米複数年契約助成	1	10,000	新市場開拓米	①対象作物を生産・出荷・販売すること。 ②新規需要米取組計画の認定を受けること。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作を対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

一 覧 表

	区 分	作 物 名
地域振興作物	野菜類 (※)	ピーマン、すいか、メロン、ケール、はくさい、チコリ、レタス、だいこん、ながいも、さといも、れんこん、しょうが、青さやいんげん、スイートコーン、食用甘しょ、しろうり、とうがらし、オクラ、セルリー、カリフラワー、ブロッコリー、春菊、パセリ、ふき、しそ、らっきょう、ミョウガ、食用ぎく、かぶ、ごぼう、やまいも、青さやえんどう、まるいも、みつば、まくわうり、おおば、ししとう、モロヘイヤ、こまつな、つるむらさき、つけな、つぼみ菜、なばな、アスパラ菜、ちぢみ菜、菜の花、セロリ、ベビーリーフ、せり、くわい、わさび、ズッキーニ、ゴーヤ、筒菜、ヤーコン、みずな、チンゲンサイ、パプリカ、スナップエンドウ、ささげ、菊いも、アロエベラ、プチベール、芽キャベツ、じねんじょ、マコモダケ、ゆり根、クレソン、うど、しどけ、ぜんまい、タラノ芽、わらび、まいたけ、しいたけ、えのきたけ、エリンギ、きくらげ、しめじ、なめこ、ひらたけ、マッシュルーム
	花き類	チューリップ、きく、カーネーション、バラ、スターチス、トルコギキョウ、ストック、かすみそう、アルストロメリア、キンギョソウ、ガーベラ、ゆり、りんどう、アスター、芝草、ひまわり、あじさい、コスモス、ジャーマンアイリス、マリーゴールド、サルビア、ベコニア、マーガレット、はす、柳、南天、ミズキ、スモークツリー、サツキ、桜、松、アジサイ、牡丹、梅、萩、サザンカ、椿
	果樹類	りんご、日本なし、西洋なし、もも、うめ、びわ、かき、くり、イチジク、キウイフルーツ、くるみ、ブルーベリー、桑、ざくろ、あんず、おうとう、ぶどう、すもも、ネクタリン、パッションフルーツ
	雑穀類	小豆
	その他	たばこ

	作 物 名
最重点振興作物	きゅうり、キャベツ、たまねぎ、ばれいしょ、にんじん、ねぎ、えだまめ、ほうれんそう

	作 物 名
重点振興作物	いちご、トマト、なす、未成熟そらまめ、にら、にんにく、かぼちゃ、アスパラガス、雪菜